

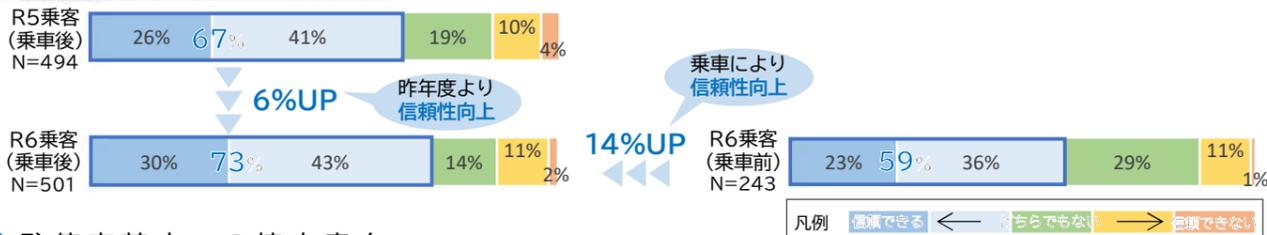
運行状況に関する調査結果

アンケート調査

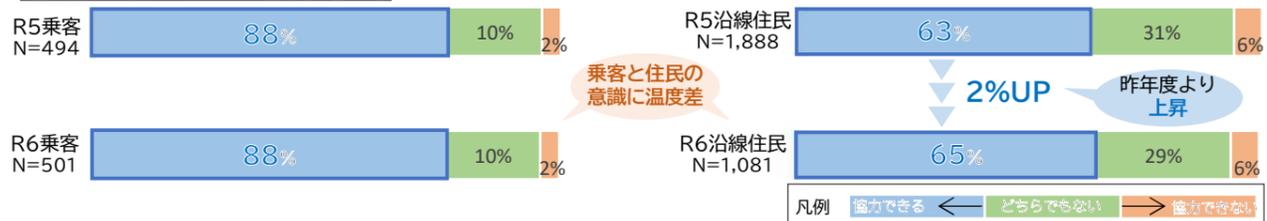
自動運転バス利用者及び走行ルートの沿線住民を対象に、利用意向や協力意向などを検証するため、アンケート調査を実施
 実施期間 | 令和5年度：令和5年11月25日から令和6年1月12日まで (乗客N=494、沿線住民N=1,888)
 令和6年度：令和6年12月5日から令和7年1月19日まで (乗客N=501、沿線住民N=1,081)

社会受容性の向上

◆ 自動運転技術への信頼性



◆ 駐停車禁止への協力意向



◆ 自由意見

- ・毎日見かける赤く可愛いバスに大分親近感を持つようになりました
- ・乗客を増やして地域が活性化し、未来には素敵なまちになるよう、この取り組みを繋げて欲しい
- ・岐阜市民として自慢出来る取り組み、バスの色もデザインも最高
- ・急いでいる時にスムーズに走行出来ず障害物に似た感覚で運転に支障をきたす場合がある

ビジネスモデルの構築



路上駐車台数調査



自動運転割合 (運行管理システム(Dispatcher)集計結果)



課題と今後の取り組み

継続運行における課題

オペレーターの介入を要する事項

- ・路上駐停車、対向車の接近の回避
- ・除雪が不十分な路面、街路樹を障害物として検知
- ・緊急車両が付近を走行した時



システムの改修を要する事項

- ・3Dマップの形状に変更が生じた時
- ・エアコンの使用等による走行可能距離の減少



R7年度の取り組み方針

◆ 一部区間でのレベル4運行

実施区間 御船街道(約900m)

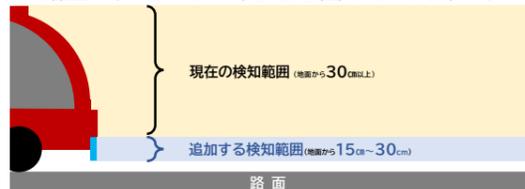
Ⅰ 車両システム更新

① 3Dマップ設定作業

- ▶ 障害物の検知範囲の拡大
車両側方の徐行検知範囲を0.40mから1.50mに拡大し、自動運転走行の安全性を高める

② 車両と遠隔監視システムの改修

- ▶ 車両性能の向上
i) 15cmの物体検知センサーの取付
道路に横たわる人(想定地面から15cm)の検知



ii) 緊急車両検知装置の取付

サイレン音を検知し遠隔システムにより車両停止を行う



関係機関、運行事業者等との協議・調整を継続し、信号交差点を含む区間でのレベル4認可取得を目指す



◆ 路車協調システム実証実験(国土交通省)に申請(R7.1月)

(御船街道バス停、市役所北出口、市役所東入口)

◆ 最新技術を搭載した車両でのレベル4走行(予定)